

表4 医師のみが実施すべきか、医師以外の職種が実施してよいか（医師回答N=524）

医療処置項目	%	
	医師のみが 実施すべき	医師以外の職種も 実施してよい
(4) 栄養管理		
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養剤の処方	51.3	38.9
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	40.5	50.0
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	5.0	87.4
経腸栄養剤の処方	40.6	50.4
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	37.6	52.9
経腸栄養剤の評価のための採血	4.6	87.4
静脈栄養剤 (IVH) および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	4.4	85.1
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	3.4	85.5
(5) 疼痛緩和		
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド (麻薬) の選択や投与量の用法設計	42.7	48.1
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	37.0	53.8
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	36.5	54.6
硬膜外チューブの抜去	35.9	54.4
鎮痛剤の持続皮下投与	25.4	64.7
(6) 身体状況査定		
動脈血採血 (Aラインからの採血)	14.1	77.7
動脈血採血 (直接動脈穿刺による採血)	43.5	47.7
簡易血糖測定	2.7	89.9
胸部・腹部レントゲン撮影	5.2	87.4
胸部・腹部超音波検査	8.6	82.4
緊急血液検査 (血算、生化学等)	7.1	84.9
心電図12誘導検査	1.5	89.5
肺動脈嚙入圧測定	43.5	44.3
Aラインの挿入・入れ替え	60.1	29.4
Aラインの抜去・圧迫止血	24.6	66.0
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	39.9	49.0
(7) 呼吸管理		
酸素投与の開始 (マスクまたはカヌラ)	9.2	82.4
トラヘルパー挿入	53.8	33.0
気管挿管 (経口挿管) の実施	52.1	38.0
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	30.3	59.2
鎮静剤の投与 (麻薬を除く)	25.0	64.5
麻薬性鎮静剤の投与	37.2	52.3
挿管患者の呼吸機能評価 (抜管可否の査定)	42.6	47.7
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	36.6	52.5
ネブライザー用薬液の処方	29.4	60.3
気管挿管チューブの抜管	52.9	36.5
気管挿管の再挿管の実施	59.9	29.8
NPPV開始	45.4	43.5
気管切開カニューレ (カフ付き・カフなし) の交換	35.9	53.6

表4 医師のみが実施すべきか、医師以外の職種が実施してよいか（医師回答N=524）

医療処置項目	%	
	医師のみが 実施すべき	医師以外の職種も 実施してよい
(8) 創傷・ドレナージ管理		
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	41.2	48.5
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	58.2	31.3
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	70.2	19.1
表創(非感染創)の縫合	63.9	25.8
体表面創の抜糸・抜鉤	45.8	43.9
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	41.2	47.3
胸腔穿刺	82.4	6.1
心嚢穿刺	83.8	4.6
腹腔穿刺	82.6	6.1
腹腔ドレーンの抜去	56.7	32.1
心嚢ドレーンの抜去	62.6	26.1
胸腔ドレーンの抜去	61.3	27.7
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	43.9	45.0
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	20.4	70.0
(9) 消化管管理		
飲水可能か否かの査定	40.8	49.8
飲水開始の決定	48.7	41.4
食事開始の決定	50.2	40.1
食事内容の決定・変更	30.5	59.9
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	37.6	52.7
イレウス管の挿入	71.9	16.8
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	47.3	42.4
緩下剤の処方	36.6	53.6
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	32.1	58.0
グリセリン浣腸の処方・実施	15.3	75.2
(10) 活動		
安静度・活動範囲の決定(指示)	36.1	55.3
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	35.7	54.8
(11) 説明		
患者・家族への病状説明	55.7	34.9
患者・家族への治療計画説明	50.4	39.9
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	32.3	57.4
(12) その他		
診断書の記載	47.3	43.5
手術記録の記載	63.0	26.3
診療情報提供書・紹介状の記載	49.2	41.2

表5 各医療処置を誰が行うとよいか；年齢群間の比較(医師回答N=524)

	40歳未満			40歳以上		
	も医師 実施以 し外 ての職 い種	実 施 医 師 の み が	※ 有 効 回 答 数	も 医 師 以 外 の 職 い 種	実 施 医 師 の み が	※ 有 効 回 答 数
(1) 循環・体液管理						
末梢静脈路(留置針使用)確保	98.1%	1.9%	107	95.8%	4.2%	360
輸液剤(等張液；リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	95.3%	4.7%	107	93.0%	7.0%	358
輸液剤(高張液；グリセロール、マニトール等)の投与	90.6%	9.4%	106	83.5%	16.5%	357
血液製剤の投与	86.9%	13.1%	107	79.6%	20.4%	353
昇圧剤の投与	76.6%	23.4%	107	74.2%	25.8%	353
降圧剤の投与	75.7%	24.3%	107	73.4%	26.6%	353
抗不整脈薬の投与	68.2%	31.8%	107	62.8%	37.2%	352
利尿剤の投与	85.0%	15.0%	107	82.8%	17.2%	354
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	92.6%	7.4%	108	88.2%	11.8%	355
高血糖時のインスリンの投与	86.0%	14.0%	107	79.0%	21.0%	353
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	61.7%	38.3%	107	56.1%	43.9%	346
CVカテーテルの抜去	61.7%	38.3%	107	71.3%	28.7%	342
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	96.2%	3.8%	105	91.6%	8.4%	345
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	<u>99.1%</u>	<u>0.9%</u>	106	<u>94.3%</u>	<u>5.7%</u>	348 *
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	94.3%	5.7%	106	93.3%	6.7%	345
(2) 総合的薬剤管理						
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	37.1%	62.9%	105	43.7%	56.3%	355
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	47.1%	52.9%	104	46.3%	53.7%	354
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	56.2%	43.8%	105	55.2%	44.8%	353
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	81.0%	19.0%	105	80.6%	19.4%	355
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	64.4%	35.6%	104	68.7%	31.3%	355
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	55.9%	44.1%	102	56.7%	43.3%	351
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	<u>98.1%</u>	<u>1.9%</u>	103	<u>90.9%</u>	<u>9.1%</u>	352 *
粉砕・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	58.7%	41.3%	104	62.4%	37.6%	354
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	45.7%	54.3%	105	52.3%	47.7%	352
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	50.5%	49.5%	103	60.5%	39.5%	352
副作用早期発見・発生防止のための採血	94.2%	5.8%	104	92.7%	7.3%	354
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	59.6%	40.4%	104	66.5%	33.5%	352
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	94.2%	5.8%	104	93.7%	6.3%	350
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	72.4%	27.6%	105	74.4%	25.6%	355
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	97.1%	2.9%	104	97.7%	2.3%	355
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	98.1%	1.9%	104	97.7%	2.3%	355
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	98.1%	1.9%	104	95.5%	4.5%	356
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	97.1%	2.9%	104	98.0%	2.0%	355
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	98.1%	1.9%	104	95.8%	4.2%	355
(3) 抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring; 治療薬物モニタリング)						
抗菌薬の初回処方	21.9%	78.1%	105	16.4%	83.6%	348
抗菌薬の継続処方	38.1%	61.9%	105	43.5%	56.5%	347
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	23.6%	76.4%	106	24.1%	75.9%	344
抗菌薬の投与実施	<u>90.5%</u>	<u>9.5%</u>	105	<u>81.9%</u>	<u>18.1%</u>	349 *
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	61.9%	38.1%	105	68.4%	31.6%	348
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	<u>99.0%</u>	<u>1.0%</u>	105	<u>94.0%</u>	<u>6.0%</u>	351 *
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	57.7%	42.3%	104	55.8%	44.2%	346
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	98.1%	1.9%	105	93.4%	6.6%	351

*年齢群間で回答比率に差あり(P<0.05)

表5 各医療処置を誰が行うとよいか;年齢群間の比較(医師回答N=524)

	40歳未満			40歳以上		
	も医師 実施以 し外の よ職 い種	実 施医 師の べき が	※有 効回 答数	も医 師以 し外 の職 い種	実 施医 師の べき が	※有 効回 答数
(4)栄養管理						
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	37.9%	62.1%	103	45.2%	54.8%	343
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	51.0%	49.0%	104	57.1%	42.9%	343
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	97.1%	2.9%	105	94.3%	5.7%	350
経腸栄養剤の処方	50.9%	49.1%	106	57.4%	42.6%	343
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	53.8%	46.2%	104	60.5%	39.5%	342
経腸栄養剤の評価のための採血	98.1%	1.9%	103	94.6%	5.4%	350
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	98.0%	2.0%	101	95.3%	4.7%	339
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	97.0%	3.0%	101	96.4%	3.6%	336
(5)疼痛緩和						
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	57.5%	42.5%	106	52.3%	47.7%	342
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	61.3%	38.7%	106	59.1%	40.9%	342
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	62.6%	37.4%	107	59.9%	40.1%	342
硬膜外チューブの抜去	56.1%	43.9%	107	62.8%	37.2%	339
鎮痛剤の持続皮下投与	65.1%	34.9%	106	74.9%	25.1%	339
(6)身体状況査定						
動脈血採血(Aラインからの採血)	88.5%	11.5%	104	83.6%	16.4%	348
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	51.9%	48.1%	104	52.9%	47.1%	346
簡易血糖測定	99.0%	1.0%	104	96.3%	3.7%	352
胸部・腹部レントゲン撮影	94.4%	5.6%	107	94.0%	6.0%	351
胸部・腹部超音波検査	92.3%	7.7%	104	89.9%	10.1%	346
緊急血液検査(血算、生化学等)	94.2%	5.8%	104	91.7%	8.3%	351
心電図12誘導検査	100.0%	0.0%	103	98.0%	2.0%	347
肺動脈喫入圧測定	<u>39.4%</u>	<u>60.6%</u>	104	<u>55.1%</u>	<u>44.9%</u>	332 *
Aラインの挿入・入れ替え	31.7%	68.3%	104	34.5%	65.5%	339
Aラインの抜去・圧迫止血	72.1%	27.9%	104	74.5%	25.5%	345
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	<u>47.6%</u>	<u>52.4%</u>	103	<u>60.1%</u>	<u>39.9%</u>	338 *
(7)呼吸管理						
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	89.6%	10.4%	106	89.9%	10.1%	347
トラヘルパー挿入	37.8%	62.2%	98	38.1%	61.9%	331
気管挿管(経口挿管)の実施	37.7%	62.3%	106	43.8%	56.2%	340
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	61.5%	38.5%	104	68.1%	31.9%	339
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	<u>64.8%</u>	<u>35.2%</u>	105	<u>74.9%</u>	<u>25.1%</u>	338 *
麻薬性鎮静剤の投与	56.2%	43.8%	105	60.4%	39.6%	338
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	54.3%	45.7%	105	53.5%	46.5%	342
抜管に向けた呼吸器ウィーキングスケジュールの作成	55.3%	44.7%	103	61.5%	38.5%	338
ネブライザー用薬液の処方	62.5%	37.5%	104	69.4%	30.6%	340
気管挿管チューブの抜管	35.9%	64.1%	103	42.6%	57.4%	340
気管挿管の再挿管の実施	29.5%	70.5%	105	34.1%	65.9%	340
NPPV開始	42.7%	57.3%	103	51.8%	48.2%	338
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	54.4%	45.6%	103	61.8%	38.2%	340

*年齢群間で回答比率に差あり(P<0.05)

表5 各医療処置を誰が行うとよいか;年齢群間の比較(医師回答N=524)

	40歳未満			40歳以上		
	も医師 施し外 での職 い種	実 施医 師 す る の べ み が	※ 有 効 回 答 数	も医 師 施 し 外 の 職 い 種	実 施 医 師 す る の べ み が	※ 有 効 回 答 数
(8)創傷・ドレナージ管理						
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	55.8%	44.2%	104	53.4%	46.6%	339
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	35.0%	65.0%	103	36.1%	63.9%	338
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	18.4%	81.6%	103	22.8%	77.2%	337
表創(非感染創)の縫合	<u>21.4%</u>	<u>78.6%</u>	103	<u>31.6%</u>	<u>68.4%</u>	339 *
体表面創の抜糸・抜鉤	<u>38.8%</u>	<u>61.2%</u>	103	<u>53.4%</u>	<u>46.6%</u>	339 *
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	52.4%	47.6%	103	55.6%	44.4%	333
胸腔穿刺	4.9%	95.1%	102	8.1%	91.9%	335
心嚢穿刺	3.9%	96.1%	102	6.0%	94.0%	334
腹腔穿刺	4.9%	95.1%	103	7.8%	92.2%	335
腹腔ドレーンの抜去	<u>25.2%</u>	<u>74.8%</u>	103	<u>40.0%</u>	<u>60.0%</u>	335 *
心嚢ドレーンの抜去	22.3%	77.7%	103	31.6%	68.4%	335
胸腔ドレーンの抜去	<u>22.3%</u>	<u>77.7%</u>	103	<u>33.9%</u>	<u>66.1%</u>	336 *
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	46.6%	53.4%	103	52.4%	47.6%	336
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	75.2%	24.8%	105	79.2%	20.8%	341
(9)消化管管理						
飲水可能か否かの査定	56.3%	43.7%	103	55.2%	44.8%	344
飲水開始の決定	47.1%	52.9%	102	46.5%	53.5%	342
食事開始の決定	47.1%	52.9%	102	44.3%	55.7%	343
食事内容の決定・変更	67.0%	33.0%	103	67.0%	33.0%	342
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	62.5%	37.5%	104	58.4%	41.6%	341
イレウス管の挿入	18.8%	81.2%	101	19.9%	80.1%	337
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	41.6%	58.4%	101	49.9%	50.1%	341
緩下剤の処方	52.4%	47.6%	103	62.6%	37.4%	342
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	58.3%	41.7%	103	66.9%	33.1%	341
グリセリン浣腸の処方・実施	81.6%	18.4%	103	84.8%	15.2%	342
(10)活動						
安静度・活動範囲の決定(指示)	53.3%	46.7%	105	63.0%	37.0%	346
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	52.9%	47.1%	104	62.9%	37.1%	342
(11)説明						
患者・家族への病状説明	35.2%	64.8%	105	40.4%	59.6%	342
患者・家族への治療計画説明	37.5%	62.5%	104	47.5%	52.5%	341
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	65.0%	35.0%	103	64.7%	35.3%	340
(12)その他						
診断書の記載	52.4%	47.6%	105	47.5%	52.5%	343
手術記録の記載	26.0%	74.0%	104	30.7%	69.3%	336
診療情報提供書・紹介状の記載	50.0%	50.0%	102	56.7%	43.3%	344

*年齢群間で回答比率に差あり(P<0.05)

表6 医師のみが実施すべきか、医師以外の職種が実施してよいか(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	%	
	医師のみが 実施すべき	医師以外の職種も 実施してよい
(1)循環・体液管理		
末梢静脈路(留置針使用)確保	4.8	91.6
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	4.6	90.8
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与	9.8	85.2
血液製剤の投与	18.0	76.9
昇圧剤の投与	18.0	77.0
降圧剤の投与	17.7	77.2
抗不整脈薬の投与	26.6	68.2
利尿剤の投与	10.2	84.8
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	7.4	88.2
高血糖時のインスリンの投与	8.6	86.7
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	27.5	66.1
CVカテーテルの抜去	58.2	35.9
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	4.9	88.7
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	7.1	86.9
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	15.0	76.3
(2)総合的薬剤管理		
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	61.5	32.8
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	60.0	34.2
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	47.2	47.0
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	18.4	75.7
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	37.9	56.6
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	59.2	34.6
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	9.8	84.9
粉砕・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	36.6	57.0
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	58.1	35.2
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	53.5	40.3
副作用早期発見・発生防止のための採血	8.3	86.2
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	52.0	41.5
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	7.1	87.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	23.1	70.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	2.6	90.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	2.6	90.6
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	2.9	90.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	2.8	90.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	3.7	89.5
(3)抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring;治療薬物モニタリング)		
抗菌薬の初回処方	80.7	13.0
抗菌薬の継続処方	58.5	35.6
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	71.6	22.3
抗菌薬の投与実施	14.5	80.4
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	46.5	47.8
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	5.4	89.8
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	52.3	41.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	5.9	88.4

表6 医師のみが実施すべきか、医師以外の職種が実施してよいか(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	%	
	医師のみが 実施すべき	医師以外の職種も 実施してよい
(4) 栄養管理		
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	58.2	36.0
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	52.9	40.7
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	5.5	88.9
経腸栄養剤の処方	46.8	47.5
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	50.7	42.4
経腸栄養剤の評価のための採血	4.7	89.8
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	4.0	86.6
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	2.6	88.0
(5) 疼痛緩和		
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	41.9	53.3
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	36.2	58.9
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	35.8	59.2
硬膜外チューブの抜去	65.5	28.6
鎮痛剤の持続皮下投与	39.5	53.7
(6) 身体状況査定		
動脈血採血(Aラインからの採血)	24.7	69.1
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	59.8	33.2
簡易血糖測定	2.4	92.2
胸部・腹部レントゲン撮影	6.7	86.0
胸部・腹部超音波検査	17.8	75.3
緊急血液検査(血算、生化学等)	9.1	84.1
心電図12誘導検査	3.3	90.3
肺動脈喫入圧測定	50.5	40.8
Aラインの挿入・入れ替え	72.4	20.3
Aラインの抜去・圧迫止血	42.6	50.7
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	66.3	26.3
(7) 呼吸管理		
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	9.3	85.3
トラヘルパー挿入	68.8	21.0
気管挿管(経口挿管)の実施	61.9	31.4
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	38.4	54.8
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	22.1	71.8
麻薬性鎮静剤の投与	32.5	60.8
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	46.7	46.5
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	39.0	54.4
ネブライザー用薬液の処方	44.0	48.8
気管挿管チューブの抜管	64.1	28.9
気管挿管の再挿管の実施	71.1	21.8
NPPV開始	52.4	39.1
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	50.9	42.2

表6 医師のみが実施すべきか、医師以外の職種が実施してよいか(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	%	
	医師のみが 実施すべき	医師以外の職種も 実施してよい
(8)創傷・ドレナージ管理		
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	43.3	51.1
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	55.8	38.3
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	79.0	14.7
表創(非感染創)の縫合	77.3	16.2
体表面創の抜糸・抜鉤	64.2	29.6
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	59.6	33.9
胸腔穿刺	90.8	2.5
心嚢穿刺	90.8	2.2
腹腔穿刺	89.6	3.6
腹腔ドレーンの抜去	81.5	11.8
心嚢ドレーンの抜去	86.5	6.4
胸腔ドレーンの抜去	85.1	7.9
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	60.6	32.8
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	20.6	74.4
(9)消化管管理		
飲水可能か否かの査定	36.8	57.3
飲水開始の決定	48.3	45.1
食事開始の決定	52.3	40.9
食事内容の決定・変更	22.2	73.1
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	32.2	62.6
イレウス管の挿入	82.0	11.1
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	56.1	37.2
緩下剤の処方	40.8	53.5
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	38.5	55.4
グリセリン浣腸の処方・実施	18.7	75.9
(10)活動		
安静度・活動範囲の決定(指示)	32.2	62.8
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	29.1	66.0
(11)説明		
患者・家族への病状説明	61.9	32.5
患者・家族への治療計画説明	56.6	37.8
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	32.2	62.0
(12)その他		
診断書の記載	68.5	26.2
手術記録の記載	75.0	18.6
診療情報提供書・紹介状の記載	58.8	35.6

表7 各医療処置を誰が行うとよいか;年齢群間の比較(看護師回答N=1,158)

	40歳未満			40歳以上		
	も医師 実施以 外の職 い種	実 施医 師の べきが	有 効回 答数	も医 師以 外の 職い 種	実 施医 師の べきが	有 効回 答数
(1)循環・体液管理						
末梢静脈路(留置針使用)確保	94.4%	5.6%	269	95.8%	4.2%	790
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	94.4%	5.6%	267	95.9%	4.1%	782
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与	91.4%	8.6%	266	89.4%	10.6%	780
血液製剤の投与	84.5%	15.5%	265	80.0%	20.0%	781
昇圧剤の投与	<u>85.3%</u>	<u>14.7%</u>	265	<u>79.6%</u>	<u>20.4%</u>	783 *
降圧剤の投与	<u>85.7%</u>	<u>14.3%</u>	265	<u>79.8%</u>	<u>20.2%</u>	782 *
抗不整脈薬の投与	<u>76.8%</u>	<u>23.2%</u>	267	<u>70.4%</u>	<u>29.6%</u>	778 *
利尿剤の投与	88.7%	11.3%	266	89.6%	10.4%	781
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	90.3%	9.7%	268	93.1%	6.9%	784
高血糖時のインスリンの投与	91.4%	8.6%	267	90.8%	9.2%	783
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	74.2%	25.8%	260	69.1%	30.9%	773
CVカテーテルの抜去	33.6%	66.4%	268	40.0%	60.0%	770
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	94.7%	5.3%	264	94.9%	5.1%	769
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	93.2%	6.8%	263	92.2%	7.8%	773
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	81.6%	18.4%	250	84.6%	15.4%	755
(2)総合的薬剤管理						
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	32.6%	67.4%	270	35.5%	64.5%	770
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	31.9%	68.1%	270	38.6%	61.4%	770
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	50.0%	50.0%	268	50.5%	49.5%	771
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	77.5%	22.5%	267	81.8%	18.2%	773
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	56.0%	44.0%	268	62.4%	37.6%	773
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	32.8%	67.2%	265	38.5%	61.5%	769
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル	88.0%	12.0%	267	90.6%	9.4%	775
粉砕・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	59.0%	41.0%	266	61.6%	38.4%	768
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	35.1%	64.9%	265	38.3%	61.7%	766
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	39.7%	60.3%	267	44.4%	55.6%	770
副作用早期発見・発生防止のための採血	<u>85.9%</u>	<u>14.1%</u>	270	<u>93.1%</u>	<u>6.9%</u>	772 *
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	40.8%	59.2%	267	45.9%	54.1%	764
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	<u>87.3%</u>	<u>12.7%</u>	268	<u>94.4%</u>	<u>5.6%</u>	771 *
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	73.3%	26.7%	266	76.3%	23.7%	768
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 血圧	97.0%	3.0%	264	97.5%	2.5%	768
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 脈拍	97.0%	3.0%	263	97.5%	2.5%	768
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 聴診	95.8%	4.2%	265	97.4%	2.6%	769
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 体温	96.6%	3.4%	264	97.4%	2.6%	768
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施 視診	94.3%	5.7%	265	96.9%	3.1%	767
(3)抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring;治療薬物モニタリング)						
抗菌薬の初回処方	14.2%	85.8%	267	13.4%	86.6%	769
抗菌薬の継続処方	37.3%	62.7%	268	37.7%	62.3%	772
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	23.0%	77.0%	265	24.4%	75.6%	772
抗菌薬の投与実施	84.0%	16.0%	269	85.6%	14.4%	779
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	<u>45.7%</u>	<u>54.3%</u>	267	<u>53.2%</u>	<u>46.8%</u>	773 *
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	<u>91.4%</u>	<u>8.6%</u>	268	<u>95.6%</u>	<u>4.4%</u>	781 *
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	<u>38.6%</u>	<u>61.4%</u>	267	<u>46.8%</u>	<u>53.2%</u>	770 *
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	<u>90.6%</u>	<u>9.4%</u>	266	<u>95.0%</u>	<u>5.0%</u>	773 *

*年齢群間で回答比率に差あり(P<0.05)

表7 各医療処置を誰が行うとよいか;年齢群間の比較(看護師回答N=1,158)

	40歳未満			40歳以上		
	も医師 施し外 の職 い種	実 施医 師の べき が	有 効 回 答 数	も医師 施し外 の職 い種	実 施医 師の べき が	有 効 回 答 数
(4) 栄養管理						
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養剤の処方	37.1%	62.9%	267	39.2%	60.8%	773
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	40.4%	59.6%	265	45.1%	54.9%	768
高カロリー輸液 (IVH) 等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	93.3%	6.7%	267	95.1%	4.9%	775
経腸栄養剤の処方	46.0%	54.0%	265	51.9%	48.1%	775
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	42.5%	57.5%	261	47.3%	52.7%	766
経腸栄養剤の評価のための採血	93.2%	6.8%	266	95.7%	4.3%	776
静脈栄養剤 (IVH) および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	94.5%	5.5%	254	96.5%	3.5%	746
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	96.4%	3.6%	253	97.6%	2.4%	747
(5) 疼痛緩和						
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	59.3%	40.7%	268	54.8%	45.2%	783
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	62.7%	37.3%	268	61.8%	38.2%	782
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	63.4%	36.6%	268	62.3%	37.7%	782
硬膜外チューブの抜去	26.2%	73.8%	267	31.4%	68.6%	773
鎮痛剤の持続皮下投与	<u>52.1%</u>	<u>47.9%</u>	263	<u>59.5%</u>	<u>40.5%</u>	767 *
(6) 身体状況査定						
動脈血採血 (Aラインからの採血)	71.1%	28.9%	266	75.0%	25.0%	771
動脈血採血 (直接動脈穿刺による採血)	36.1%	63.9%	263	35.9%	64.1%	766
簡易血糖測定	96.6%	3.4%	267	97.8%	2.2%	778
胸部・腹部レントゲン撮影	91.2%	8.8%	261	93.6%	6.4%	766
胸部・腹部超音波検査	79.5%	20.5%	264	81.3%	18.8%	768
緊急血液検査 (血算、生化学等)	89.7%	10.3%	263	90.4%	9.6%	769
心電図12誘導検査	96.2%	3.8%	266	96.8%	3.2%	770
肺動脈楔入圧測定	42.9%	57.1%	254	45.4%	54.6%	755
Aラインの挿入・入れ替え	23.3%	76.7%	262	21.4%	78.6%	763
Aラインの抜去・圧迫止血	55.9%	44.1%	263	54.1%	45.9%	767
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	32.6%	67.4%	261	26.8%	73.2%	762
(7) 呼吸管理						
酸素投与の開始 (マスクまたはカヌラ)	89.9%	10.1%	268	90.3%	9.7%	776
トラヘルパー挿入	<u>17.0%</u>	<u>83.0%</u>	253	<u>25.3%</u>	<u>74.7%</u>	743 *
気管挿管 (経口挿管) の実施	29.2%	70.8%	267	34.9%	65.1%	763
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	<u>51.3%</u>	<u>48.7%</u>	267	<u>61.0%</u>	<u>39.0%</u>	765 *
鎮静剤の投与 (麻薬を除く)	75.4%	24.6%	264	77.3%	22.7%	776
麻薬性鎮静剤の投与	69.4%	30.6%	265	64.2%	35.8%	770
挿管患者の呼吸機能評価 (抜管可否の査定)	45.7%	54.3%	267	51.0%	49.0%	766
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	<u>52.8%</u>	<u>47.2%</u>	267	<u>60.1%</u>	<u>39.9%</u>	767 *
ネブライザー用薬液の処方	50.9%	49.1%	267	53.1%	46.9%	761
気管挿管チューブの抜管	28.5%	71.5%	267	32.0%	68.0%	762
気管挿管の再挿管の実施	23.1%	76.9%	268	23.2%	76.8%	760
NPPV開始	38.0%	62.0%	266	44.3%	55.7%	747
気管切開カニューレ (カフ付き・カフなし) の交換	42.9%	57.1%	266	46.4%	53.6%	763

* 年齢群間で回答比率に差あり (P<0.05)

表7 各医療処置を誰が行うとよいか;年齢群間の比較(看護師回答N=1,158)

	40歳未満			40歳以上		
	も医師 施以外 ての職 い種	実 施医 師 す る の べ き が	有 効 回 答 数	も医 師 施 以 外 て の 職 い 種	実 施 医 師 す る の べ き が	有 効 回 答 数
(8)創傷・ドレナージ管理						
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	55.9%	44.1%	270	53.6%	46.4%	773
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	41.5%	58.5%	270	40.2%	59.8%	769
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	17.8%	82.2%	270	14.9%	85.1%	765
表創(非感染創)の縫合	16.4%	83.6%	269	17.8%	82.2%	764
体表面創の抜糸・抜鉤	31.6%	68.4%	269	31.9%	68.1%	768
SEBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	32.0%	68.0%	266	37.9%	62.1%	766
胸腔穿刺	2.3%	97.7%	266	2.6%	97.4%	764
心嚢穿刺	1.5%	98.5%	266	2.5%	97.5%	761
腹腔穿刺	3.4%	96.6%	267	3.9%	96.1%	763
腹腔ドレーンの抜去	13.4%	86.6%	268	12.6%	87.4%	763
心嚢ドレーンの抜去	9.4%	90.6%	267	6.1%	93.9%	759
胸腔ドレーンの抜去	9.7%	90.3%	267	8.2%	91.8%	760
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	31.5%	68.5%	267	36.7%	63.3%	765
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	<u>71.2%</u>	<u>28.8%</u>	271	<u>81.4%</u>	<u>18.6%</u>	778 *
(9)消化管管理						
飲水可能か否かの査定	61.9%	38.1%	265	60.5%	39.5%	773
飲水開始の決定	48.9%	51.1%	266	48.3%	51.7%	764
食事開始の決定	45.1%	54.9%	266	43.6%	56.4%	764
食事内容の決定・変更	74.2%	25.8%	267	78.3%	21.7%	783
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	62.5%	37.5%	269	67.4%	32.6%	779
イレウス管の挿入	9.5%	90.5%	264	12.7%	87.3%	765
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	36.0%	64.0%	264	41.9%	58.1%	768
緩下剤の処方	55.6%	44.4%	266	57.7%	42.3%	776
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	59.2%	40.8%	267	59.5%	40.5%	772
グリセリン浣腸の処方・実施	83.8%	16.2%	266	79.6%	20.4%	780
(10)活動						
安静度・活動範囲の決定(指示)	<u>58.9%</u>	<u>41.1%</u>	270	<u>68.6%</u>	<u>31.4%</u>	780 *
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	<u>60.8%</u>	<u>39.2%</u>	268	<u>72.3%</u>	<u>27.7%</u>	780 *
(11)説明						
患者・家族への病状説明	34.0%	66.0%	268	34.5%	65.5%	774
患者・家族への治療計画説明	42.8%	57.2%	269	39.5%	60.5%	775
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	61.4%	38.6%	267	67.8%	32.2%	774
(12)その他						
診断書の記載	<u>21.5%</u>	<u>78.5%</u>	265	<u>30.0%</u>	<u>70.0%</u>	779 *
手術記録の記載	20.2%	79.8%	263	19.9%	80.1%	769
診療情報提供書・紹介状の記載	<u>28.7%</u>	<u>71.3%</u>	268	<u>41.1%</u>	<u>58.9%</u>	774 *

*年齢群間で回答比率に差あり(P<0.05)

表8 医師以外が実施する場合の職種(医師回答N=524)

医療処置項目	職種	看護師	薬剤師	臨床工学技士	理学療法士	臨床検査技師	%その他
(1)循環・体液管理							
末梢静脈路(留置針使用)確保		91.6	11.3	13.9	2.3	11.1	3.4
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与		86.6	18.5	13.4	1.9	5.5	3.4
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与		77.7	15.5	9.7	0.6	2.9	1.5
血液製剤の投与		75.2	11.6	9.4	0.4	3.2	1.9
昇圧剤の投与		68.3	13.7	9.0	0.8	1.7	2.1
降圧剤の投与		67.0	14.3	8.6	0.8	1.9	2.1
抗不整脈薬の投与		58.2	12.0	6.9	0.4	1.7	1.9
利尿剤の投与		75.6	15.3	8.8	0.4	1.7	2.1
低血糖時のブドウ糖注射液の投与		81.9	16.6	10.1	1.9	4.0	2.9
高血糖時のインスリンの投与		73.9	14.5	7.4	0.8	1.9	2.1
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正		51.5	10.7	7.4	0.6	1.5	1.9
CVカテーテルの抜去		60.9	3.6	8.0	1.3	2.1	3.1
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換		84.2	5.9	9.4	1.9	2.5	3.4
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え		86.8	5.0	7.1	1.3	1.9	3.1
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄		84.0	4.6	7.1	1.5	1.7	3.4
(2)総合的薬剤管理							
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示		22.3	36.8	2.9	0.8	0.8	1.7
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択		14.5	42.7	2.1	0.6	1.0	1.7
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択		15.6	49.6	2.5	0.6	0.8	1.7
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更		63.9	42.7	6.7	0.6	1.1	2.1
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定		36.3	56.1	3.8	0.6	0.8	1.9
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択		17.7	48.5	6.7	0.8	0.8	1.9
薬剤の経管投与時の錠剤粉砕・脱カプセル		50.2	78.8	4.2	0.8	1.1	3.4
粉砕・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方		21.2	56.1	2.5	0.6	0.8	1.9
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示		31.7	39.7	1.9	0.6	0.6	2.7
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)		32.4	45.8	3.4	1.3	4.0	2.1
副作用早期発見・発生防止のための採血		77.9	27.1	7.1	2.1	21.4	2.9
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー		33.4	52.7	4.2	1.1	3.8	2.1
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血		79.8	27.5	7.3	2.1	21.2	2.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示		61.8	37.6	6.7	2.9	5.0	2.9
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	血圧	86.3	24.8	9.7	4.8	8.8	4.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	脈拍	86.5	25.0	9.9	5.0	9.0	4.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	聴診	84.4	23.1	9.4	4.6	7.6	3.6
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	体温	86.1	24.8	9.9	5.0	9.0	4.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	視診	84.5	24.8	9.7	4.6	8.0	3.6
(3)抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring;治療薬物モニタリング)							
抗菌薬の初回処方		10.1	11.6	0.8	0.4	1.0	1.5
抗菌薬の継続処方		28.4	29.2	1.1	0.4	0.8	2.9
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)		11.5	18.1	1.0	0.4	1.1	1.7
抗菌薬の投与実施		73.1	30.9	4.6	1.1	3.2	2.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー		32.6	56.7	3.8	1.0	5.0	2.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血		84.5	23.1	6.3	1.3	23.1	2.9
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー		27.7	43.5	3.1	0.8	8.0	2.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)		83.6	22.1	6.1	1.5	21.6	2.9

表8 医師以外が実施する場合の職種(医師回答N=524)

	職種	看護師	薬剤師	臨床工学技士	理学療法士	臨床検査技師	%その他
医療処置項目							
(4) 栄養管理							
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	16.6	34.4	1.3	0.8	1.3	12.0	
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	33.6	36.5	2.5	0.8	4.4	13.0	
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	82.1	19.5	4.4	1.0	19.3	4.6	
経腸栄養剤の処方	25.4	38.7	1.7	1.0	2.3	17.9	
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	35.7	36.6	2.5	1.0	5.2	13.9	
経腸栄養剤の評価のための採血	83.2	20.8	5.5	1.3	19.8	6.1	
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	82.6	21.2	6.1	0.8	2.7	6.3	
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	83.4	20.0	5.5	1.1	2.3	8.0	
(5) 疼痛緩和							
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	24.8	45.4	0.8	0.4	0.0	2.3	
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	28.6	49.8	1.3	0.6	0.0	2.3	
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	27.7	52.1	1.1	0.4	0.0	2.3	
硬膜外チューブの抜去	54.8	9.0	2.5	0.4	1.1	3.1	
鎮痛剤の持続皮下投与	64.5	16.4	2.3	0.6	0.6	3.1	
(6) 身体状況査定							
動脈血採血(Aラインからの採血)	76.3	4.2	17.9	1.0	23.3	3.6	
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	46.4	3.2	6.3	1.0	12.4	3.1	
簡易血糖測定	85.9	13.7	15.1	5.0	34.2	6.1	
胸部・腹部レントゲン撮影	21.9	3.1	17.0	3.1	35.3	40.3	
胸部・腹部超音波検査	21.8	2.5	12.8	1.7	70.4	9.5	
緊急血液検査(血算、生化学等)	47.5	6.7	10.5	3.2	60.3	4.4	
心電図12誘導検査	68.7	6.7	21.9	5.9	78.1	5.3	
肺動脈喫入圧測定	38.5	3.1	17.2	1.9	14.9	2.7	
Aラインの挿入・入れ替え	29.0	1.5	8.0	1.1	4.6	3.1	
Aラインの抜去・圧迫止血	66.2	2.9	16.0	1.9	8.4	3.8	
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	47.3	2.1	15.1	1.7	6.7	4.0	
(7) 呼吸管理							
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	81.3	9.0	20.2	14.9	9.4	6.3	
トラヘルパー挿入	30.2	2.1	8.4	3.1	2.1	5.3	
気管挿管(経口挿管)の実施	32.6	1.9	12.2	2.3	2.5	9.9	
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	48.9	1.7	38.4	5.7	2.3	6.1	
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	61.6	18.9	5.3	1.9	1.0	3.8	
麻薬性鎮静剤の投与	48.5	16.0	4.6	1.3	0.8	3.6	
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	39.1	2.3	24.0	8.4	2.3	4.4	
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成	40.8	2.1	29.2	9.4	1.5	4.4	
ネブライザー用薬液の処方	52.5	29.0	9.9	3.8	0.6	3.4	
気管挿管チューブの抜管	33.6	1.7	13.4	3.1	1.5	5.9	
気管挿管の再挿管の実施	26.0	1.5	8.8	1.5	1.1	5.9	
NPPV開始	38.4	0.8	19.7	6.7	1.5	5.0	
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	51.7	1.7	13.5	3.6	1.3	6.1	

表8 医師以外が実施する場合の職種(医師回答N=524)

	職種	看護師	薬剤師	臨床工学技士	理学療法士	臨床検査技師	%その他
医療処置項目							
(8) 創傷・ドレナージ管理							
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	43.5	22.3	1.3	1.0	0.2	4.0	
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	31.1	1.5	1.7	0.8	0.4	3.4	
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	17.4	0.4	1.1	0.4	0.2	2.7	
表創(非感染創)の縫合	23.1	0.6	2.3	0.4	0.4	4.6	
体表面創の抜糸・抜鉤	41.8	0.8	3.6	0.6	0.8	5.5	
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	45.2	1.3	8.8	0.6	1.0	4.8	
胸腔穿刺	5.3	0.2	1.1	0.2	0.4	1.9	
心嚢穿刺	4.0	0.2	1.0	0.2	0.4	1.3	
腹腔穿刺	5.3	0.4	1.3	0.4	0.6	1.9	
腹腔ドレーンの抜去	29.4	0.4	4.8	0.6	1.0	4.6	
心嚢ドレーンの抜去	23.9	0.4	4.2	0.6	1.0	4.0	
胸腔ドレーンの抜去	25.8	0.4	4.4	0.6	1.0	4.2	
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	43.5	0.4	12.8	1.1	0.8	4.8	
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	70.6	1.9	8.4	2.1	1.5	5.2	
(9) 消化管管理							
飲水可能か否かの査定	49.4	1.1	1.0	8.0	0.2	5.2	
飲水開始の決定	41.4	1.5	1.0	6.1	0.2	4.2	
食事開始の決定	39.1	0.8	1.0	5.3	0.2	4.2	
食事内容の決定・変更	55.3	2.5	1.5	3.4	0.4	16.6	
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	51.5	1.1	2.5	1.3	0.8	5.0	
イレウス管の挿入	14.5	0.8	1.3	0.4	0.4	2.9	
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	34.0	26.5	0.8	0.2	0.2	3.2	
緩下剤の処方	49.2	29.8	1.1	0.4	0.2	3.8	
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	54.0	30.9	1.3	0.4	0.2	3.6	
グリセリン浣腸の処方・実施	74.2	20.0	1.3	0.8	0.4	4.4	
(10) 活動							
安静度・活動範囲の決定(指示)	53.1	1.1	0.8	17.9	0.4	3.6	
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	52.3	1.0	0.8	19.1	0.2	3.4	
(11) 説明							
患者・家族への病状説明	34.4	3.8	1.7	2.1	1.1	4.8	
患者・家族への治療計画説明	38.7	7.6	2.9	4.2	1.7	6.3	
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	57.4	4.6	8.8	6.3	1.7	5.7	
(12) その他							
診断書の記載	16.8	1.5	1.5	1.5	0.8	37.8	
手術記録の記載	14.3	1.1	3.2	1.0	0.4	18.7	
診療情報提供書・紹介状の記載	23.5	3.1	3.4	4.0	1.7	40.5	

表9 医師以外が実施する場合の職種(看護師回答N=1,158)

	職種	看護師	薬剤師	臨床工学技士	理学療法士	臨床検査技師	%その他
医療処置項目							
(1)循環・体液管理							
末梢静脈路(留置針使用)確保		11.0	0.7	16.3	2.2	16.3	2.2
輸液剤(等張液;リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与		87.7	27.8	8.5	0.6	5.4	1.4
輸液剤(高張液;グリセロール、マニトール等)の投与		82.7	25.6	6.1	0.5	3.1	1.1
血液製剤の投与		75.5	19.1	6.8	0.3	3.9	0.9
昇圧剤の投与		75.1	21.5	5.4	0.3	1.2	0.9
降圧剤の投与		74.9	21.8	5.1	0.3	1.3	0.9
抗不整脈薬の投与		66.7	19.9	4.6	0.3	1.0	0.8
利尿剤の投与		82.1	23.5	5.7	0.3	1.5	0.9
低血糖時のブドウ糖注射液の投与		85.9	24.7	5.6	0.7	2.8	1.2
高血糖時のインスリンの投与		84.1	25.3	4.9	0.3	2.4	1.2
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正		62.8	18.9	5.4	0.2	2.8	0.9
CVカテーテルの抜去		34.8	3.0	5.2	0.0	0.7	1.5
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換		85.8	7.5	6.6	0.9	2.0	2.5
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え		85.5	4.6	4.3	0.4	1.6	1.9
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄		73.5	3.7	3.9	0.5	1.2	2.2
(2)総合的薬剤管理							
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示		16.4	29.9	0.5	0.0	0.2	0.3
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択		8.5	34.2	0.3	0.0	0.3	0.3
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択		12.1	45.5	0.6	0.0	0.3	0.2
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更		62.8	41.8	3.2	0.2	0.8	0.6
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定		25.8	50.9	1.8	0.0	0.3	0.3
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択		10.8	29.4	8.1	0.1	0.6	0.5
薬剤の経管投与時の錠剤粉碎・脱カプセル		56.9	72.8	1.1	0.3	0.4	1.7
粉碎・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方		16.2	54.5	0.3	0.0	0.2	0.7
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示		20.4	27.7	0.4	0.1	0.3	1.5
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)		21.0	30.0	0.9	0.3	7.5	1.1
副作用早期発見・発生防止のための採血		76.0	17.1	4.2	0.5	51.8	1.5
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー		19.9	33.1	1.0	0.2	6.9	1.0
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血		77.2	18.0	4.6	0.6	52.1	1.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示		66.0	25.1	5.3	2.2	6.0	1.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	血圧	87.0	19.5	8.9	6.6	10.6	3.0
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	脈拍	87.0	19.3	9.0	6.7	10.3	2.8
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	聴診	86.9	18.5	8.5	5.4	9.6	2.7
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	体温	86.9	19.4	9.0	6.5	10.5	3.2
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	視診	85.3	18.8	8.3	5.7	9.3	2.6
(3)抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring;治療薬物モニタリング)							
抗菌薬の初回処方		6.2	10.4	0.2	0.0	0.6	0.7
抗菌薬の継続処方		18.5	29.2	0.2	0.1	1.1	1.6
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)		9.1	19.0	0.1	0.0	1.0	0.7
抗菌薬の投与実施		74.0	32.5	1.6	0.2	3.5	0.8
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー		16.3	43.2	0.5	0.3	7.1	1.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血		81.8	18.0	2.9	0.6	52.4	1.0
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー		14.6	37.0	0.6	0.1	7.8	0.9
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)		81.5	17.4	3.4	0.8	52.2	0.8

表9 医師以外が実施する場合の職種(看護師回答N=1,158)

医療処置項目	職種	看護師	薬剤師	臨床工学技士	理学療法士	臨床検査技師	%その他
(4) 栄養管理							
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養製剤の処方		16.0	28.8	0.5	0.2	0.8	10.7
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養製剤の処方の評価のための検査オーダー		23.7	23.1	0.9	0.3	7.2	9.5
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養製剤の処方の評価検査のための採血		80.4	12.8	3.3	0.5	52.7	2.8
経腸栄養剤の処方		25.3	25.9	0.8	0.3	1.6	23.5
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー		26.5	20.6	1.0	0.3	7.8	13.6
経腸栄養剤の評価のための採血		80.9	11.8	3.4	0.4	52.0	3.4
静脈栄養製剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続		82.7	19.8	3.8	1.0	2.6	3.7
経腸栄養剤の経管チューブへの接続		82.6	14.3	3.2	1.8	2.8	10.0
(5) 疼痛緩和							
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計		38.3	47.1	0.4	0.1	0.2	2.9
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計		42.8	51.3	0.5	0.2	0.1	3.2
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計		41.8	52.1	0.5	0.1	0.2	3.0
硬膜外チューブの抜去		25.9	6.2	2.7	0.1	0.7	2.0
鎮痛剤の持続皮下投与		50.4	16.2	1.6	0.0	0.5	2.2
(6) 身体状況査定							
動脈血採血(Aラインからの採血)		64.7	2.2	16.3	0.8	30.7	1.3
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)		26.9	1.0	4.9	0.3	14.1	1.4
簡易血糖測定		86.4	11.9	11.5	4.6	51.6	5.3
胸部・腹部レントゲン撮影		8.1	0.3	9.4	0.6	27.6	46.7
胸部・腹部超音波検査		13.0	0.7	8.7	0.5	57.7	11.2
緊急血液検査(血算、生化学等)		43.9	3.3	7.5	0.8	66.1	1.9
心電図12誘導検査		73.7	3.8	16.9	3.4	75.9	4.1
肺動脈嚙入圧測定		30.2	0.9	17.1	1.1	12.6	1.3
Aラインの挿入・入れ替え		15.5	0.2	5.7	0.2	3.8	1.6
Aラインの抜去・圧迫止血		48.5	1.3	11.6	0.8	7.7	1.9
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置		21.6	0.4	8.2	0.6	4.4	1.8
(7) 呼吸管理							
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)		81.4	4.1	15.9	9.1	6.8	4.1
トラヘルパー挿入		18.7	0.4	5.1	1.4	0.3	3.1
気管挿管(経口挿管)の実施		25.1	0.7	7.8	1.3	0.9	8.5
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更		39.5	1.1	39.4	5.8	1.4	2.4
鎮静剤の投与(麻薬を除く)		67.9	25.6	2.8	1.2	0.8	2.1
麻薬性鎮静剤の投与		56.3	21.7	3.0	1.3	0.9	1.3
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)		37.8	0.8	24.4	11.7	2.9	2.4
抜管に向けた呼吸器ウィーニングスケジュールの作成		44.5	1.6	30.1	14.6	1.7	2.5
ネブライザー用薬液の処方		39.1	28.1	4.2	3.4	0.6	1.8
気管挿管チューブの抜管		25.5	0.6	8.2	3.0	0.3	3.1
気管挿管の再挿管の実施		18.5	0.4	5.4	1.3	0.2	3.9
NPPV開始		32.0	0.7	18.1	6.1	0.6	2.8
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換		40.1	0.9	7.8	3.3	0.5	3.8

表9 医師以外が実施する場合の職種(看護師回答N=1,158)

	職種	看護師	薬剤師	臨床工学技士	理学療法士	臨床検査技師	%その他
医療処置項目							
(8)創傷・ドレナージ管理							
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方		45.4	22.5	0.1	0.3	0.2	4.2
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント		36.4	1.9	0.1	0.2	0.0	3.5
皮下膿瘍の切開・ドレナージ		13.0	0.3	0.1	0.1	0.0	1.6
表創(非感染創)の縫合		14.5	0.3	0.2	0.1	0.0	2.3
体表面創の抜糸・抜鉤		26.9	0.3	0.6	0.2	0.1	2.8
SB/バッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更		31.3	0.4	4.9	0.7	0.5	1.9
胸腔穿刺		0.9	0.1	0.3	0.1	0.2	0.7
心嚢穿刺		0.5	0.1	0.4	0.1	0.2	0.4
腹腔穿刺		1.7	0.1	0.6	0.1	0.3	0.6
腹腔ドレーンの抜去		9.8	0.2	0.9	0.2	0.3	1.2
心嚢ドレーンの抜去		4.5	0.2	0.4	0.1	0.3	0.7
胸腔ドレーンの抜去		5.7	0.2	0.6	0.2	0.3	1.1
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更		29.0	0.4	6.5	1.6	0.5	1.8
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)		73.1	0.9	3.4	1.4	1.1	2.9
(9)消化管管理							
飲水可能か否かの査定		54.0	1.2	0.7	9.3	0.4	8.0
飲水開始の決定		42.7	0.8	0.4	6.0	0.3	6.3
食事開始の決定		39.3	0.6	0.3	4.7	0.3	5.5
食事内容の決定・変更		68.6	1.5	0.3	3.5	0.3	20.2
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え		59.2	0.7	1.4	1.4	0.4	3.5
イレウス管の挿入		8.6	0.6	1.1	0.3	0.3	1.4
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方		26.3	26.5	0.4	0.4	0.2	1.5
緩下剤の処方		44.2	33.0	0.3	0.7	0.1	2.1
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方		46.6	32.7	0.3	0.8	0.1	1.9
グリセリン浣腸の処方・実施		72.3	24.5	0.6	0.8	0.5	2.2
(10)活動							
安静度・活動範囲の決定(指示)		61.4	0.2	0.9	23.2	0.5	2.0
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)		63.1	0.2	0.9	25.6	0.4	2.2
(11)説明							
患者・家族への病状説明		32.1	2.1	1.3	2.5	1.0	2.6
患者・家族への治療計画説明		37.8	4.6	1.5	5.0	0.9	3.5
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)		61.9	1.8	5.4	3.7	0.8	5.2
(12)その他							
診断書の記載		5.7	0.3	0.3	0.4	0.3	23.4
手術記録の記載		10.1	0.7	2.3	0.6	0.4	10.0
診療情報提供書・紹介状の記載		15.7	1.8	0.8	2.9	0.3	24.8

表10 医師以外の職種が行うための要件(医師回答N=524)

医療処置項目	その職種の免許のみでよい	その職種の免許取得後、十分な実務経験があること	研修プログラムを新設し、それを受講すること
(1)循環・体液管理			
末梢静脈路(留置針使用)確保	46.2	27.3	16.0
輸液剤(等張液；リンゲル液、生理食塩水、5%ブドウ糖液など)の投与	45.4	24.2	15.1
輸液剤(高張液；グリセロール、マニトール等)の投与	37.8	23.7	14.7
血液製剤の投与	30.3	26.5	17.0
昇圧剤の投与	23.9	25.2	18.9
降圧剤の投与	23.9	25.0	17.9
抗不整脈薬の投与	20.0	21.8	17.2
利尿剤の投与	31.9	25.0	17.7
低血糖時のブドウ糖注射液の投与	36.6	25.8	18.3
高血糖時のインスリンの投与	30.2	24.6	18.3
血清電解質が正常より逸脱している場合の補正	18.1	17.7	17.4
CVカテーテルの抜去	23.5	23.9	13.9
CVカテーテル挿入部のドレッシング交換	40.6	28.8	13.2
膀胱留置カテーテル挿入・入れ替え	39.3	30.7	14.1
尿流出不良時の膀胱留置カテーテルの洗浄	39.1	30.3	13.2
(2)総合的薬剤管理			
副作用症状の確認による薬剤の中止・減量・変更指示	10.9	14.9	15.3
腎障害・肝障害時の薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	11.1	17.6	16.2
薬剤間相互作用回避のための薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	13.9	20.8	17.7
注射薬の配合変化回避のための投与ライン変更	25.8	29.8	16.4
注射薬の溶解液の選択および溶解液量の決定	19.5	26.0	17.0
透析患者への薬剤投与量・用法設定や薬剤選択	13.0	20.4	18.7
薬剤の経管投与時の錠剤粉碎・脱カプセル	38.7	29.2	14.3
粉碎・脱カプセル不可能な場合の代替薬処方	22.1	21.6	15.3
継続指示の薬剤(全般)の投薬指示	14.9	17.0	14.9
副作用早期発見・発生防止のための検査オーダー(TDMを除く)	15.8	19.3	18.9
副作用早期発見・発生防止のための採血	43.1	27.1	12.2
副作用早期発見・発生防止のためのTDMオーダー	18.7	22.1	18.5
副作用早期発見・発生防止のためのTDMのための採血	43.7	28.2	11.8
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の指示	28.1	25.4	13.4
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	52.5	21.8	11.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	52.7	21.2	11.5
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	48.5	23.3	12.2
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	52.9	21.2	11.3
副作用早期発見・発生防止のためのバイタルサイン測定の実施	48.1	23.9	12.2
(3)抗菌薬関係 ※TDM(Therapeutic Drug Monitoring;治療薬物モニタリング)			
抗菌薬の初回処方	6.1	4.8	6.3
抗菌薬の継続処方	13.7	15.1	9.7
抗菌薬の変更処方(他剤への変更、同一薬剤の用法・用量、点滴時間の変更を含む)	7.1	7.6	7.4
抗菌薬の投与実施	38.0	27.1	9.5
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のオーダー	21.6	22.3	17.9
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血	49.8	25.4	10.1
抗菌薬の選択・変更・継続判断のための薬剤感受性試験のオーダー	17.9	20.0	15.1
抗菌薬の血中濃度測定(TDM)のための採血(採取)	50.6	24.4	9.9

表10 医師以外の職種が行うための要件(医師回答N=524)

	その職種の免許のみでよい	その職種の免許取得後、十分な実務経験があること	研修プログラムを新設し、それを受講すること
%			
医療処置項目			
(4) 栄養管理			
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方	8.4	11.8	20.6
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価のための検査オーダー	14.3	18.7	16.8
高カロリー輸液(IVH)等の静脈栄養剤の処方の評価検査のための採血	49.0	24.2	10.3
経腸栄養剤の処方	9.9	15.1	26.0
経腸栄養剤の評価のための検査オーダー	15.8	21.8	17.2
経腸栄養剤の評価のための採血	49.2	23.1	11.5
静脈栄養剤(IVH)および電解質輸液の留置カテーテルへの接続	42.4	29.0	11.5
経腸栄養剤の経管チューブへの接続	42.4	29.8	11.3
(5) 疼痛緩和			
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じたオピオイド(麻薬)の選択や投与量の用法設計	8.2	13.5	26.5
患者の痛みの度合いや副作用症状に応じた非オピオイドおよび鎮痛補助薬の選択や投与量・用法設計	9.0	14.9	30.0
オピオイド、非オピオイドおよび鎮痛補助薬の投与による副作用回避、軽減のための薬剤の選択や投与量・用法設計	9.5	16.4	29.2
硬膜外チューブの抜去	17.9	22.5	14.3
鎮痛剤の持続皮下投与	19.7	25.4	19.7
(6) 身体状況査定			
動脈血採血(Aラインからの採血)	30.3	31.1	14.3
動脈血採血(直接動脈穿刺による採血)	9.7	19.3	19.7
簡易血糖測定	51.5	24.0	8.6
胸部・腹部レントゲン撮影	48.7	19.1	15.5
胸部・腹部超音波検査	29.2	27.3	22.3
緊急血液検査(血算、生化学等)	46.4	22.7	13.0
心電図12誘導検査	49.4	25.2	12.0
肺動脈喫入圧測定	13.7	18.3	14.3
Aラインの挿入・入れ替え	5.5	12.4	13.9
Aラインの抜去・圧迫止血	23.3	27.1	15.6
動脈カテーテル検査後のシース抜去・止血処置	13.7	21.2	15.1
(7) 呼吸管理			
酸素投与の開始(マスクまたはカヌラ)	43.7	24.2	12.2
トラヘルパー挿入	7.6	9.9	15.5
気管挿管(経口挿管)の実施	3.4	8.2	27.9
人工呼吸器の装着、モードの設定・変更	8.0	16.4	35.9
鎮静剤の投与(麻薬を除く)	19.8	22.5	22.1
麻薬性鎮静剤の投与	15.3	17.6	20.2
挿管患者の呼吸機能評価(抜管可否の査定)	7.3	13.5	28.2
抜管に向けた呼吸器ウィニングスケジュールの作成	7.3	12.6	34.0
ネブライザー用薬液の処方	20.4	20.4	19.3
気管挿管チューブの抜管	5.0	12.6	19.8
気管挿管の再挿管の実施	2.9	7.1	19.8
NPPV開始	5.9	10.7	26.7
気管切開カニューレ(カフ付き・カフなし)の交換	10.9	21.0	22.9

表10 医師以外の職種が行うための要件(医師回答N=524)

医療処置項目	その職種の免許のみでよい	その職種の免許取得後、十分な実務経験があること	研修プログラムを新設し、それを受講すること
(8)創傷・ドレナージ管理			
創(肉芽形成不良、感染等)への外用剤の処方	9.7	18.5	19.7
創(肉芽形成不良、感染等)のデブリートメント	4.4	8.0	19.5
皮下膿瘍の切開・ドレナージ	2.3	5.3	12.0
表創(非感染創)の縫合	2.1	7.3	16.8
体表面創の抜糸・抜鉤	7.1	17.0	19.3
SBバッグ等のドレナージ吸引圧の設定・変更	8.2	21.6	15.8
胸腔穿刺	1.1	.6	5.7
心嚢穿刺	1.1	.6	4.2
腹腔穿刺	1.1	1.0	5.3
腹腔ドレーンの抜去	6.5	11.6	13.7
心嚢ドレーンの抜去	5.9	8.6	12.0
胸腔ドレーンの抜去	5.5	9.5	13.2
胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	9.9	18.3	17.0
胃管の抜去(食道・胃・咽喉頭の術後を除く)	30.2	26.5	13.5
(9)消化管管理			
飲水可能か否かの査定	13.0	24.0	13.4
飲水開始の決定	10.1	20.0	11.8
食事開始の決定	8.8	18.5	12.0
食事内容の決定・変更	15.3	24.8	17.6
経管栄養用の胃管の挿入・入れ替え	10.5	21.0	19.5
イレウス管の挿入	2.1	4.4	10.1
内服用健胃薬・潰瘍治療薬の処方	11.3	13.2	17.4
緩下剤の処方	15.1	18.5	19.5
排便促進の坐薬(レシカルボンなど)の処方	17.0	19.1	20.2
グリセリン浣腸の処方・実施	26.3	29.2	17.4
(10)活動			
安静度・活動範囲の決定(指示)	16.0	25.2	11.8
離床(ベッド～トイレまでの歩行開始)の決定(指示)	14.9	25.6	12.4
(11)説明			
患者・家族への病状説明	9.4	14.7	11.5
患者・家族への治療計画説明	9.2	17.9	13.0
患者・家族への侵襲的処置の指導(気管カニューレ交換等)	10.5	24.6	22.3
(12)その他			
診断書の記載	8.6	9.4	26.0
手術記録の記載	6.3	7.4	13.9
診療情報提供書・紹介状の記載	9.5	13.9	26.7